

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
原谷地域の新たな都市づくり ～開拓政策による農業用基盤を市街地としての生活基盤へ～ <北区役所>	<p>戦後の農地開拓事業によって開墾、整備された原谷地域は、市内中心部から飛び地となっている地形上の条件に加え、洛北開拓農協が所有管理する道路や広場が地域の生活基盤として、大きな役割を担ってきた。また、開拓事業の中で失業対策事業により「山腹水路」が建設され、洛北開拓農協に引き渡されたが、宅地化の進行によって役目を果たさぬまま老朽化し、現在では防災面での機能を担う一方で危険な箇所も存在している。</p> <p>このような状況の中、洛北開拓農協が、道路や水路の管理を行うことは限界に達しており、また、農協自身も、平成20年の設立60周年を機に解散することを希望し、京都市への土地の全面一括寄付を申し出ている。</p> <p>これらの財産には、現状のままでは京都市への引継ぎ基準を満たさない道路・水路も含まれるが、実質的には地域の公共設備として機能しており、本来なら行政が管理すべきものが多いことから、農協・地域と協力して、市への引継ぎなど生活基盤としての適正管理方針を講じる。</p> <p>また、市に引き継ぐことのできない財産の所有管理や、農協ひろばの管理活用などを検討するための地域組織を立ち上げ、今後の原谷全体のまちづくりについての計画を策定する。</p> <p><成果目標> 原谷地域の安心で安全な市街地としての発展を目指す。</p>	37,100	36,600	<p>要求どおり</p> <p>積算内容精査</p> <p>事業内容精査</p>
源氏物語千年紀事業 「京都創生の地（平安宮）・源氏物語の世界をみんなで再発見」 <上京区役所>	<p>平成20年が源氏物語の千年紀に当たり、平成19年度から平成20年度にかけて、地元を中心とした関連事業「京都創生の地（平安宮）・源氏物語の世界をみんなで再発見」を行い、上京区の魅力、「平安宮（大内裏）」「源氏物語の世界」について、地元住民に理解をしてもらい、地域の魅力の再発見を行うとともに、源氏物語千年紀事業を通じて上京区の魅力を発信する。</p> <p><成果目標> 地元を中心とした事業の実施により、地域の魅力の再発見と上京区の魅力発信を行うとともに、地域コミュニティの再活性化を促す。</p>	1,125	1,100	<p>要求どおり</p> <p>積算内容精査</p> <p>事業内容精査</p>

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
山科区における観光の振興～おこしやす“やましな”協議会への支援～ <山科区役所>	<p>山科の魅力を広く全国にアピールし、多くの観光客に山科の歴史、文化を紹介するとともに、まちの活性化につなげていくために、平成18年に「おこしやす“やましな”協議会」が設立された。</p> <p>これは、経済界を中心に区役所も発起人として参画したオール山科の体制で臨む観光振興組織として立ち上げられたものであり、京都市は「おこしやす“やましな”協議会」が行う観光振興に向けた取組（観光マップの作成、観光案内板の設置等）に対して、助成等による支援を行う。</p> <p><成果目標> 京都市の東の玄関口である山科区を全国にアピールし集客することにより、山科区の賑わいと活気を創出する。</p>	4,000	3,500	<p>要求どおり</p> <p>積算内容精査</p> <p>事業内容精査</p>
小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進 <山科区役所>	<p>小金塚地域は、昭和40年から約10年間、延べ16回にわたり宅地開発され、山の斜面を雑壇状に造成した地域である。</p> <p>地域内の道路・橋梁・公園は、ほぼすべてが私有地であるため、当初から地元管理・地元負担となっていることから、地震等の災害時に道路の損壊、橋梁の崩壊が生じた場合、地域住民の避難行動が制限され、大規模災害に至る恐れがある。</p> <p>同地域は、これまで限られた公共投資しかなされてこなかった地域であり、また、現状をこのまま放置すれば今後の地域住民の生活安全に大きな支障となるため、地元自治連合会からの要望を受けて、平成17年度から地元と京都市関係局において課題解決のための協議を行ってきた。その結果、地域内道路を順次、京都市が管理する道路として移管を受けるため、測量・分筆等にかかる費用に対して助成を行うとともに、住民とのパートナーシップの下、地域の住民が将来にわたって安心して安全に暮らせるためのまちづくり計画を策定していく。</p> <p><成果目標> 地域の住民が将来にわたって安心・安全に暮らせるためのまちづくりを目指す。</p>	14,500	14,500	<p>要求どおり</p> <p>積算内容精査</p> <p>事業内容精査</p>

(単位：千円)

区政策提案予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
洛西ニュータウンのこれからのまちづくり～もっともっと魅力あるまちをめざして～ <西京区役所>	平成18年策定の「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」で示されている提言の実現に向け、洛西ニュータウンのこれからのまちづくりを推進するため住民、事業者、行政等で更に議論・検討を深め、住んでいてよかったと実感できるまちづくりに向けた取組を推進する。 19年度においては、地元自治会、事業者及び行政で構成する住民が主体となってまちづくりを推進する組織を設立し、今後の取組内容を協議するとともに、ビジョンの実現に向けた取組の状況を広く住民に周知するため、広報紙の発行やまちづくり活動の報告会、住民主体のまちづくりについての学習会を開催する。 20年度、21年度においては、19年度における協議を受け、住民主体のまちづくりを推進する。 <成果目標> 住んでいてよかったと実感できる、より魅力あるまちづくりを目指す。	1,500	1,500	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
「横大路まちづくり協議会（仮称）」の設立支援～「伏見ルネッサンスプラン」の具体化に向けて～ <伏見区役所>	平成18年度策定の「伏見ルネッサンスプラン」は、横大路地域を発信地とし伏見区全体の活性化につなげるまちづくり計画である。このプランに基づく横大路地域のまちづくりは、地域の20年後、30年後を見据え、長期的かつ総合的に取り組んでいくものであるとともに、「環境共生型都市・京都」を実践する先進的な取組として全国に発信することが期待できる本市の重要なプロジェクトである。 「伏見ルネッサンスプラン」の具体化に向けては、住民と行政とが主体的にそれぞれの役割を果たしていくことが重要である。特に、住民のまちづくりに対する意欲、主体性の持続が成否の鍵を握っており、継続的に活動できる組織基盤の確立が不可欠である。 このため、平成19年度は、住民を中心としたまちづくり組織「横大路まちづくり協議会（仮称）」の設立に向け、その運営手法を検討するとともに地域住民のまちづくりに対する気運を高めるための積極的な支援等を行う。 <成果目標> 横大路を発信地とした伏見区全体の活性化・魅力の向上	3,000	2,400	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
WE LOVE FUSHIMI(ウイ・ラブ・伏見)・観光支援事業 <伏見区役所>	伏見区では、酒蔵の町並みや稲荷大社、醍醐寺界わいなど、本所・支所管内を問わず抜群の集客力を誇る史跡名所を有するにも関わらず、これらの観光資源を活かした観光振興施策が打ち出せない状況にある。この現状を打破すべく、各観光振興団体との連携の下に多様な情報媒体を駆使し、事業展開を図る。 (具体策) 1 連携組織の設立 2 新たな観光資源開発、情報発信 <成果目標> 伏見区の観光資源を生かし、「世界の京都」として情報発信し、観光客誘致を図る。	1,500	1,000	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査